

4月6日：VN指数は19年ぶりの上げ幅を記録

直近の2日間は1人のみの新規感染者だったこともあり、VN指数は4.98%の大幅な上昇となり736.75ポイントで取引を終えた。1日の上げ幅としては2001年の10月10日以来だった。

330銘柄が上昇し、59銘柄が下落した。その中でも95銘柄がストップ高となった。

これは2001年以来の上昇幅であった。当時は5銘柄のみが上場していて指数も200ポイントほどであった。

流動性も大きく高まった。6.45兆ドンが取引され先週の平均よりも31%ほど増加した。相対取引が81%ほどを占めた。

VN30指数は5.16%高となった。すべての銘柄が上昇し17銘柄がストップ高となった。

銀行セクターでは6銘柄が6.8-7.0%高となった。BIDV銀行(BID)、ベティンバンク(CTG)、軍隊商業銀行(MBB)、サコムバンク(STB)、テクコムバンク(TCB)、VPバンク(VPB)がそうであった。

その他金融セクターではバオベトホールディングス(BVH)、SSI証券(SSI)はそれぞれ7%、6.8%高となった。

ビンググループ(VIC)、ビンホームズ(VHM)、ビンコムリテール(VRE)は6.9%の上昇を記録した。

VHMと同様に、コテコンズ建設(CTD)、FLCファロス建設(ROS)もストップ高まで上昇した。

小売りではマッサングループ(MSN)、モバイルワールドインベストメント(MWG)、フーニュアンジュエリー(PNJ)も6.9%高となった。

VNダイレクト証券によると、VN指数への影響度の大きい10銘柄が大きく上昇したことで指数に大きなインパクトをもたらした。VICは5.54ポイント、VHMは3.42ポイント、BIDは2.51ポイント寄与した。VN指数は34.95ポイント上昇した。

ストップ高ではないが大きく上昇したのはペトロベトナムガス (GAS)、ペトロベトナムパワー (POW)、ペトロリメックス (PLX) でそれぞれ 6.5%、5.6%、0.5% 上昇した。

アナリストによると、石油ガスセクターの上昇は OPEC とロシアの減産への合意が近いということを受けて原油価格が 30% ほど上昇したことを受けてだった。

しかしながら、原油価格は月曜日に下落した。月曜日に予定されていた会議が木曜日に延期されたことによってのことだった。午後 4 時 10 分時点でブレント原油先物価格は 4.24% 下落し 33.18 ポイントで取引を終えた。

ホーチミン取引所ではベトジェット航空が変わらずで取引を終えた。

一方、HNX 指数は 5.54% 上昇し UPCoM 指数も 2.42% 上昇した。

外国人投資家は売り越しとなり 7000 億ドンを売り越した。KB ベトナム証券によると、世界的な景気後退懸念によって新興市場の株式からの資金流出が進んでいるとのことだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。